

普及だより

●編集発行

大隅地域振興局農林水産部農政普及課
肝属地域農業改良普及事業協議会
ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/chiiki/osumi/index.html>

鹿屋市打馬2丁目16-6
TEL:0994-52-2146
FAX:0994-52-2147

<目次>

P1: 農地中間管理事業	P5: <畜産>適正出荷で儲かる経営を!
P2: フラワーアレンジメント講習会	P6: <茶>チャトゲコナジラミの天敵
P3: 水田営農の取組	P7: <畑かん>畑かん利用で高収益農業の展開を
P4: <経営>収入保険制度	P8: 肝属地区指導農業士の活動

<農地中間管理事業を御利用ください!!>

1 農地中間管理事業利用実績

大隅地域振興局管内9市町においては、平成28年度、547haの農地が県地域振興公社(機構)を通じて担い手等に貸付けられました。貸付を受けた担い手等は670名にのぼり、多くの皆様に御利用いただいております。(※1)

これにより、平成26年度から開始した農地中間管理事業による管内の貸付面積累計は、平成29年3月末時点で1,368ha(鹿児島空港約7個分)となっております。(※2)

<県全体実績、平成29年3月末現在>

- ※1 H28年度、1,955haの農地が2,377名の担い手等に貸付。
- ※2 平成26年度からの担い手等への貸付面積累計は4,836ha(東京ドーム約1,000個分)。

2 トピックス

貸出希望農地情報を、県公社(機構)ホームページに掲載する仕組みを開始しました!!
借受可能な農地がいつでもご覧いただけます。是非御活用ください。



<お問合せ先>

- ・(公財)鹿児島県地域振興公社(農地中間管理機構)
(Tel) 099-223-0223 (HP)<http://www.kagoshima-kikou.jp>
- ・各市町農政担当課または農業委員会



肝属地区花き振興会青年部 フラワーアレンジメント講習会

花き消費拡大への取組

鹿児島は切り花の消費が大きい県として知られています。しかし近年は本件も含め全国的に花き消費は、年々減少傾向にあります。

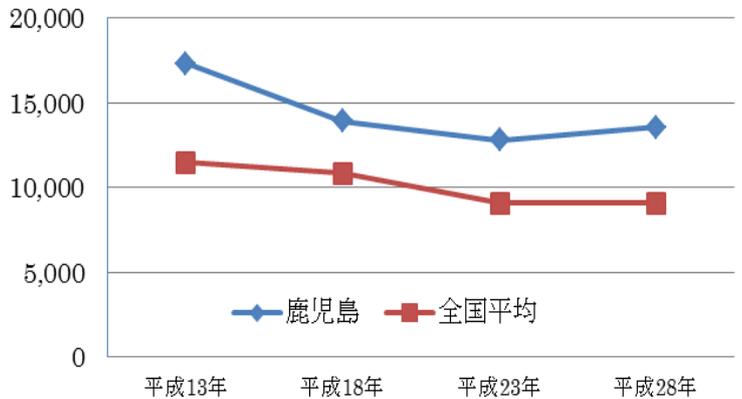
そこで肝属地区花き振興会青年部では、地域の花きのPRと消費拡大への取組として自分たちの栽培したキク、バラ、トルコギキョウ、スターチス等を用いたフラワーアレンジメント講習会を開催しています。

地元の花とふれあおう！

フラワーアレンジメント講習会は平成21年度から取組を始め、今回の6月7日開催で28回目となります。講師に鹿屋市「リトルドア」の上ノ宮尚子氏を招き、15名の参加がありました。梅雨をイメージしてオアシスを用いずに水を張ったボールに飾るアレンジメントを作成しました。

参加者から「楽しかった、次回も参加したい」というお声をいただきました。今後さらにたくさんの県民の皆さんに大隅の花に触れていただけるよう、講習会の規模を大きくしていきます。次回の開催は12月を予定していますので、皆さんも是非大隅の花をお楽しみください！

(円/年/世帯) 《年間切り花消費額の推移》



〈講師 上ノ宮尚子さん〉



参加者の アレンジメント紹介

写真には見えませんがボールいっぱい飾ることで、涼しげな作品になりました！



< 地域の水田営農の取組 >

大隅地域の早期地帯は、約5千haの水田面積があり、県内随一の広さを誇っております。今後、水田営農を確立するためには、気象変動に左右されにくい品種等の導入や地域で協力して営農を行う集落営農組織の育成が求められています。今回は、関係機関や農業者と連携した実証活動を紹介します。

1 早期水稲の新品種特性検討

現在の早期水稲の主要品種は、中生のコシヒカリとイクヒカリですが、出穂後の日照不足や高温の影響で「心白米、乳白米」等が発生し、玄米の検査等級が比較的安定していないのが課題です。そこで、昨年、平成26年度に適品種となった晩生の「なつほのか」の栽培試験を鹿屋市で行い、下記のような結果が得られました。

<イクヒカリと比較した実証結果>

- ・なつほのかは、**出穂期で5日、収穫期で9日遅い。**
- ・なつほのかの玄米重は、**124%と多い(玄米514kg/10a)**
- ・玄米検査等級は、**1等で品質が良**
- ・食味試験の結果では、同等以上



品種比較実証ほ

総じて、**収量が高く、玄米品質・食味も良好で評価は高いですが、収穫期が遅いのが難点**です。今後、この品種の作期・作型的位置づけや、各地での評価など、試験することとしています。

本年は、**多肥条件下での収量と品質の違いを調べる実証活動と、比較の出穂後が高温になりやすい地域(南大隅町や東串良町など7カ所)で展示栽培**を行っています。



白米の試食検討会の様子

2 WCSの品種構成の検討

地域のWCS用稲の主要品種は、晩生品種のtachiaobaやminamikutakaです。収穫期の9月に雨天が断続的につづく、水田に大型機械を入れることができないため、**収穫作業が遅くなってしまうなど、適期収穫が困難な状態が見受けられます。**

そこで、中生品種(たちあやか、ホシアoba)の品種試験を東串良町で行っており、出穂や収穫時期及び収量、WCSの品質、嗜好性を比較し、**WCS用稲の作期分散が可能かを調査**するとしています。

	5月			6月			7月			8月			9月			10月								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
現状	移植						早刈り						晩生						刈り遅れ					
↓	移植						適期収穫						中生～晩生											
目指す姿	移植						適期収穫						中生～晩生											

※この他、水田の耕作放棄地の解消及び田植え機・コンバインなど機械の過剰投資等を防ぐために、**集落営農組織の設立・運営や農地の集積のための話し合いの支援**を行っています。管内には集落営農組織が13組織(内3組織が法人)の事例があります。

水田営農の推進する中では、各種の事業や技術を取り入れながら、地域にあった支援を市町やJA等と連携して行っていくことが大事と考えています。どうぞ、こちらへもお問い合わせください。

知って**得**する! 技術情報!! ～経営編～

< 収入保険制度に加入には青色申告が必要です! >

収入保険制度は、基準収入よりも収入が減少した分を補償範囲内で補填する制度です。肉牛・肉豚・鶏卵を除く全ての農業経営品目を対象に、それぞれの農業者について、自然災害による収量の減少だけでなく、価格低下も含めた収入減少を補填します。

個々の農業者の収入を正確に把握するために、『青色申告』による確定申告が必要となります。

1 収入保険制度の対象者

- 対象者は、簿記記帳を行い、青色申告を行っている農業者(個人・法人)です。5年以上の青色申告の実績がある方が基本ですが、1年以上の青色申告実績があれば加入できます。
- そのため、平成30年秋から募集が始まる収入保険制度に加入をするためには、平成29年分から青色申告に取り組む必要があります。
- マルキン等の対象である肉用牛(肥育)、肉用子牛(生産)、肉豚、鶏卵については収入保険制度の対象から除外されます。ただし、複合経営で耕種品目を生産している場合、耕種部門は収入保険制度に加入できます。

2 簿記記帳に取り組むには

(1) 複式簿記(正規の簿記)

- ア パソコン簿記 ノートパソコンと農業簿記ソフトを購入し、日々の記帳を行います。大隅地域振興局農政普及課では、初心者対象のパソコン簿記の基礎研修を6月～7月に開催し、その後も定例記帳会を行い、決算までサポートします。
- イ 代行記帳 農協に複式簿記の記帳を委託します。代行手数料は約4万円。
- ウ 税理士委託 税理士に委託。委託手数料が必要です。

(2) 簡易簿記

「簡易農業経営簿記」の冊子を使って記帳します。



パソコン簿記基礎研修会

4 青色申告の様々なメリット

(1) 青色申告特別控除

複式簿記の場合は65万円、簡易簿記の場合は10万円の特別控除が受けられます。

(2) 専従者給与の経費算入

生計を一にする家族への給与を全額経費に算入できます。

白色申告では、配偶者は85万円、子弟は50万円の上限がありますが、青色申告では上限はありません。

(3) 純損失の繰り越し控除

純損失(赤字)が発生した場合、翌年以降3年間にわたり繰り越して各年の所得から控除できます。

(4) 信用力の向上

合理的な経営管理をしているため、融資機関等から見た信用力が向上します。

知って得する! 技術情報!! ~畜産編~

<適正出荷で儲かる経営を!>

- 肝属中央家畜市場では適正出荷推進のため、**子牛育成マニュアル**に基づき去勢 250 日齢、めす 260 日齢での出荷を推進していますが、平成 28 年の出荷実績は去勢 273 日齢、めす 275 日齢となっています。
- また、マニュアルをもとに平成 28 年の子牛セリ市出荷成績を分析すると、1ヶ月出荷月齢が伸びることにより、販売価格は去勢で 14,380 円、めすで 6,919 円、安く、飼料代は、現在の飼料単価で計算すると、去勢で 19,620 円、めすで 17,385 円余分にかかる試算されました。
- 販売価格と飼料代を合わせると、マニュアル通りに出荷することにより去勢 34,000 円、めすで 24,304 円得することになります。
- 子牛発育改善に繋がる子牛育成飼料給与マニュアルを下記に記載しますので参考にしてください。

◎出荷目標 去勢 日齢250日 体高115cm 体重280kg 雌 日齢260日 体高113cm 体重265kg

子牛育成飼料給与マニュアル

注:自給飼料(イタリヤ)のバキューム乾草での給与例です。給与量は、現物重量で表示しています。

去勢	生時(月) (日齢)	2ヶ月離乳 生後月齢								出荷目安	
		1	2	3	4	5	6	7	8		
1日当たり給与 給与飼料量(kg)	えづけ飼料 育成用飼料	0.1	1.7	3.0							
	良質粗飼料(乾草)				3.5	4.5	4.0	4.0	4.0	4.0	
体高の目安(cm)		73	80	86	92	97	102	106	110	114	115
体重の目安(kg)		35	56	80	107	139	171	203	236	269	280
濃厚飼料と粗飼料の割合		9:1			7:3			4:6			

めす	生時(月) (日齢)	2ヶ月離乳 生後月齢								出荷目安	
		1	2	3	4	5	6	7	8		
1日当たり給与 給与飼料量(kg)	えづけ飼料 育成用飼料	0.1	1.6	2.6							
	良質粗飼料(乾草)				3.0	4.0	3.5	3.5	3.5	3.5	
体高の目安(cm)		69	77	84	90	95	100	104	108	111	113
体重の目安(kg)		30	51	75	102	130	158	187	215	243	265

① 制限哺乳

② えづけ飼料の増

③ 2ヶ月離乳

5ヶ月までは濃厚飼料

その後は粗飼料多給が基本

子牛の第1胃の変化

えづけ飼料が胃を育てる

★良い給与法
ミルク えづけ飼料
⇒絨毛の発育良好!

ミルク 乾草
⇒絨毛の発達不十分

ミルクのみ
⇒絨毛の発達不十分

濃厚飼料と粗飼料の給与パターン



飼料給与のポイント

離乳の目安は、えづけ1kg以上摂取!

3ヶ月齢まで
えづけ飼料:乾草 = 9 : 1
えづけ飼料重視
※えづけ飼料で子牛の体の発育と第1胃の絨毛の発達

4~5ヶ月齢まで
育成飼料:乾草 = 7 : 3
5ヶ月齢は育成飼料最大給与
※5ヶ月齢は骨格が最も発達する時期

6ヶ月齢以降
育成飼料:乾草 = 4 : 6
粗飼料を多給 濃厚飼料を制限
※骨格づくりの後は、粗飼料で胃袋づくり

知って**得**する! 技術情報!! ～茶 編～

< チャトゲコナジラミの天敵 >

管内のチャトゲコナジラミ(写真1)は、平成25年にはじめて田代町で発生を確認し、その後、錦江町の広い範囲の茶園で見られるようになってきました。チャトゲコナジラミが多発生した園では、下葉に黒いすす(写真2)がたくさん付きます。肝属管内では、錦江町と南大隅町で発生していますが、今後、鹿屋市管内での発生拡大が懸念されています。



写真1 茶に寄生するチャトゲコナジラミ
(左上は成虫, 葉裏は幼虫)

写真2 チャトゲコナジラミが多発生し、すす病が発生した様子

写真3 シルベストリコバチ
(左:雄, 右:雌)

1 チャトゲコナジラミの防除に活躍する天敵の発生を確認

チャトゲコナジラミに対する**有力な天敵**として、**シルベストリコバチ**(写真3)が知られています。肝属管内では、その発生が確認されていませんでしたが、平成29年5月に、**錦江町田代の茶園で、シルベストリコバチの発生を確認**し、周辺ほ場でもその発生を確認しました。

2 天敵を有効に活用する方法

シルベストリコバチは、一般の害虫防除に使用する薬剤の影響を受けやすいです。有機リン系薬剤のスプラサイド乳剤やオルトラン水和剤などは天敵に大きな影響を与えるので、極力使用を避けるようにしてください(表1)。特に、スプラサイド乳剤は一番茶後のクワシロカイガラムシの防除によく使用しますが、**アプロードエースフロアブルなどの天敵に影響の少ない剤へ変更**することで天敵がスムーズに定着し、チャトゲコナジラミの発生を抑えてくれる働きをします。

表1 シルベストリコバチの雌成虫に対する各種薬剤の影響

系統名	薬剤一般名	薬剤商品名	影響
有機リン系	DMTP乳剤	スプラサイド乳剤40	大
	ピリミホスメチル乳剤	アクテリック乳剤	大
	アセフェート水和剤	オルトラン水和剤	大
カーバメート系	メソミル水和剤	ランネート45DF	中
ピレスロイド系	ピフェントリン水和剤	テルスターフロアブル	中
	ジノテフラン水和剤	スタークル顆粒水和剤	小
ネオニコチノイド系	クロチアニジン水和剤	ダントツ水和剤	小
	チアクロプリド水和剤	バリアード顆粒水和剤	小
	スピネトクラム水和剤	ディアナSC	小
ネライストキシン系	カルタップ水溶剤	パダンSG水溶剤	中
ピロール系	クロルフェナピル水和剤	コテツフロアブル	中
その他	トルフェンピラド乳剤	ハチハチ乳剤	小
	ジアフェンチウロン水和剤	ガンバ水和剤	小

知って**得**する!技術情報!!～畑かん編～

<畑かん利用で、高収益農業の展開を>

国営かんがい排水事業肝属中部地区(鹿屋市, 肝付町, 受益面積 1,537ha)では, 現在, 肝付町の荒瀬ダム本体の完成を受けて, ダムへの湛水試験を行っています。予定では, 平成30年度当初に第三・第七肝付地区, 吾平南西部1期・2期地区, 第二・第三鹿屋地区の一部が通水となります。

畑かん通水により, 多くの効果が期待できます。下表は過去の実証ほ実績による増収効果です。

表 主要品目のかん水による増収効果

	かん水区 (kg/10a)	無かん水区 (kg/10a)	増収率	単価 (円/kg)	増収効果※ (円/10a)	散水器具償却費+ 賦課金(円/10a)
新ごぼう	805	533	151%	530	133,594	10,743 (7,143+3,600)
にんじん	4,791	3,868	124%	70	53,907	
さといも	2,830	1,890	150%	100	83,307	

※ 増収効果は, 散水器具償却費 7,143 円(農家負担金 50,000 円/7 年), 賦課金 3,600 円を引いてあります。

この他に, **天候に左右されずに計画的な作付けができる点, 降灰洗浄, 降霜害防止, 生理障害防止など様々な効果**が期待できます。

通水予定地区の農家のみなさんには, 開栓・散水器具導入の説明会を行う予定です。**県営事業期間中は農家負担約2割で散水器具の導入ができますので, 早めに開栓・散水器具導入の申込みを行ってください。** 申込先は, 肝属中部土地改良区(45-7120)または, 鹿屋市役所農地整備課, 吾平総合支所産業建設課, 肝付町役場農業振興課となっています。

【主な散水器具】

	スプリンクラー(30 番) 散水時間; 約 3 時間 農家負担 約 6.2 万円/10a (14 台/30a)		固定式スプリンクラー 散水時間; 3 時間 農家負担 約 5.5 万円/10a (4 台/30a)
	噴射ホース 散水時間; 2~3 時間 農家負担 約 4.8 万円/10a (100m×3 本/30a)		ロールカー 散水時間: 3~5 時間 農家負担 約 30 万円/1 台 1 台で 60a 以上が条件
	レインガン 散水時間: 1~3 時間 農家負担 約 4.5 万円/10a (4 台/30 a)		スマートレイン 散水時間; 約 1 時間 農家負担 約 65 万円/1 台 1 台で 2ha 以上が条件

※ **必要台数, 作業時間, 農家負担額(ホース等付属品込み)は目安です。ほ場の形状によって, 異なります。**
 出展: 曾於地域畑かん営農技術マニュアル追補版 P12~13

<肝属地区指導農業士の活動>

肝属指導農業士会は、県下で最も多い**43名**の会員で（野菜部門19名、畜産部門12名、花き部門4名、茶部門3名、果樹部門2名、水稻・普通作部門3名）、**新規就農者や青年農業者の育成**に取り組んでいます。

1 新規就農者農場訪問

平成28年度は、青年就農給付金対象者も含め、36名の農場を訪問しました。女性農業経営士や関係機関と連携し、栽培技術等の助言や意見交換を行いました。



<新規就農者の農場で技術等をアドバイス>

2 農業青年クラブへの支援

農業青年クラブが主催する会議や組織活動に出席して助言等を行っています。また、地区青年農業者会議では、プロジェクト・意見発表の審査の中で助言指導も行い、課題解決の支援もしています。



<地区青年会議でプロジェクト発表等に助言・指導>

3 ブロック研修

会員並びに連携組織との交流や資質向上を目的に開催しています。平成28年は会員の優れた経営（水稻及びピーマン部門）、集落営農組織「(農)うましさと吾平」の事例紹介と吾平ピーマンでの新規就農者に対する支援策について研修しました。



<ブロック研修>

4 夫婦研修会

農業経営のパートナーとともに夫婦研修会を開催しています。

現地検討や青年クラブとの合同研修、室内研修等それぞれ工夫を凝らして実施しています。

5 最後に

平成29年に**4名の方が新たに指導農業士会**に加入されました。これからも会員の交流や資質向上を図りながら関係機関や女性農業経営士等とも連携し、新規就農者の支援に努めたいと考えています。



<夫婦研修で指導農業士のほ場を研修>